

構造工学委員会  
数値解析による道路橋床版の構造検討小委員会  
第8回委員会 議事録(案)

日時：平成 30 年 5 月 30 日(水) 14:00~17:00

場所：瀧上工業株式会社 本社工場 応接室

参加者：藤山委員長，浅野幹事長，木作幹事，~~田中幹事~~，~~宮下幹事~~，~~青木委員~~，新井委員，石川委員，伊藤委員，後藤委員，杉田委員，~~田坂委員~~，~~圭田委員~~，林委員，判治委員，武藤委員，米津委員，蘇委員(書記)(敬称略，全 11 名，取消線は欠席者)

資料

- 8-0 第 8 回委員会 議事次第
- 8-1 第 7 回委員会 議事録(案)
- 8-2 委員会名簿(平成 30 年 4 月 1 日現在)
- 8-3 報告書構成案・執筆担当案
- 8-4 構造 WG 報告書目次案
- 8-5 補強 WG 報告書目次案
- 8-6 設計 WG 報告書目次案
- 8-7 数値解析による道路橋床版の構造検討小委員会 設計 WG 第 4 回 議事録

議事

1. 工場見学

瀧上工業株式会社 本社工場の視察を行った。

2. 前回議事録の確認

浅野幹事長より、前回議事録を読み上げ、内容の確認を行った。

確認に関して、以下のような個別修正があった。

- ・ 2.3 武藤委員の発言内容の修正

3. 新委員の紹介、名簿の確認

- ・ 後藤委員と米津委員から自己紹介があった。次回の委員会で話題提供を予定する。
- ・ 石川委員の所属は異動につき、修正する。
- ・ JSCE 委員会ホームページの名簿に、長尾前委員の担当時期を追記する。

4. 報告書構成案・執筆担当の確認

- ・ 執筆担当に長尾前委員を追記する。
- ・ 後藤委員と米津委員の参加 WG を決まり次第、執筆担当を記入する。
- ・ 目次案の 2.2「用語の定義」を削除する。

- ・委員長から報告書の書式を送付する。

## 5. 各WGの報告書目次案・執筆担当の確認・WG間調整

### 5.1 構造WG(蘇委員)

資料8-4に基づく目次案を紹介された。以下のような質疑・議論があった。

- ・新道示では、基本的に合成桁として考慮する。
- ・WGは「床版の構造状態が橋梁の力学性能に与える影響」をテーマとしているが、現在の目次案は床版構造に着目して整理している。橋梁全体構造の内容を記載するか。損傷原因特定等の分析で、橋梁構造への影響は一部入っている。
- ・3章の内容がイメージしにくい。1.3節との棲み分けはどうか。  
数値解析よりも維持管理の影響に関する知見をまとめたいが、補強WGと区分するため、鋼床版・PC床版・合成床版を中心に調査する。
- ・数値解析の定義とは。  
当初はFEM等構造数値解析だと想定したが、維持管理データベースの数値分析でも良い。
- ・補強と維持管理の内容の棲み分けを検討する。
- ・合成床版の内容にFRP合成床版も含めるかどうか。

### 5.2 補強WG(新井委員)

資料8-5に基づく目次案を紹介された。以下のような質疑・議論があった。

- ・鋼床版の補修補強事例も紹介してはどうか。例えば疲労対策としてストップホールの数値解析等。
- ・2章と4章の内容が重複していないか。
- ・4章の界面技術について、機械等別分野の知見を参考できれば良い。
- ・2章の「新たにトライする」の内容とは。  
法政大学の学生研究による、解析事例の少ない研究を想定している。
- ・3章での数値解析の位置付けとは。  
簡易照査式の検証として、詳細の数値解析結果を比較する。

### 5.3 設計WG(木作幹事)

資料8-6と8-7に基づく目次案を紹介された。以下のような質疑・議論があった。

- ・鋼床版に関する研究はないか。  
委員たちが提案した研究案候補から投票で2案を選定した。結果、鋼床版に関する研究は採用されなかった。
- ・報告書の最終原稿段階で、3章は記載内容によって、WG1の内容と調整する可能性がある。
- ・水平ひび割れの検討方法はWG1の参考文献の相違点と共通点を知りたい。
- ・2.2~2.3はH29新道示を基本として研究を行う。

- ・各節の内容は委員各々の研究結果に基づくか。  
そのとおり。

#### 5.4 全体（藤山委員長）

本日委員会のコメントに参考し、各WG目次の修正案は6月22日まで委員長に提出し、親委員会で報告する。

#### 6. 次回の開催予定

次回委員会は2018年9月に開催する予定。

以上